



飯嶋 正利 議員



米価下落対策を

問 今年の秋の収穫において、米の価格が3割程度下落し

ており、本当に農家の皆さんは頭を抱えている。このままでは稲作を辞める農家が増えてしまうと思うが、市の対応は。

答 市では、稲作経営の安定化を図るため、国の米政策で

ある飼料用米などへの転作をより一層推進するため、市の単独事業によるキロあたり20円の補助を実施するとともに、畜産が盛んな旭市の特色を活かして、畜産農家と連携した飼料用米の市内循環の強化を図っていく。

問 旭市で飼料用米しか作られなくなつては、食育などの面で子どもたちにも影響があると思う。主食用米農家に対して、10アール当たり5千円程度の助成ができるか。

答 米価の下落は全国的な問題となつているので、今後とも国・県に強く要望していく。現在

の市の方針としては、飼料用米などへの転作を推進していきたいと考えている。



燃油価格高騰対策を

問 現在、燃油価格が高騰しており、施設園芸生産者の暖房費の負担が急激に増加している

が、市の対応は。

答 過去には、平成25年度にも燃油価格が高騰したため、

ちばみどり農協が1リットル当たり1円の補助をしており、市もこれに協力して同額の補助をしていたので、今回も同程度の補助額を前向きに検討している。

問 今月の19日には国の経済対策がまとめられると思うが、

農業者への支援も明文化するよう、市長には県・国へしっかりと働きかけてもらいたい。

答 今後の状況や県・国の動向を注視し、必要な支援については要望していきたい。

ピロリ菌検査に補助を

問 胃がんの発生にピロリ菌が大きく関与していることが

明らかになり、ピロリ菌の除菌が胃がんの予防になるとのことだが、検査費用はどのくらいかかるのか。

答 市の検診での自己負担額は胃がん検診が500円、ピロリ菌検査が200円。

問 ピロリ菌検査や除菌治療に補助を行っている自治体は県内にどのくらいあるのか。

答 ピロリ菌検査や治療に補助を行っている市町村はない。ピロリ菌検査を行っている15市町村のうち、4市町村は無料、11市町村は500円程度の自己負担で行っている。

粗大ごみの収集を

問 以前は粗大ごみも袋を付けてゴミステーションに出して

おけば回収してくれていたが、ごみ処理広域化後は、銚子市、匝瑳市に合わせて回収しなくなった。

サービスは高く負担は低くという受益者負担の原則があるが、これでは行政サービスの低下ではないのか。

答 ごみの分別方法や回収方法については、ごみ処理広域化に伴い構成する3市で統一し、運用を開始したばかりなので、しばらくはこの方法でいきたいと考えている。

問 高齢で運転できない方、また乗用車に積載できない粗大ごみもあるので、月に1回くらいは市で回収できないか。

答 運搬手段がない方への対応については、今後取り組んでいかなければならない課題であると考えている。回収方法などについても、研究を重ね、構成3市で調整を図っていきたい。



伊藤 保 議員



粗大ごみを直接搬入できる旭中継施設

その他の質問事項
○新型コロナウイルスについて